

ファイアウォール設定について

株式会社TKC

「e-TAX償却資産」を利用するためには、ファイアウォールソフトおよびファイアウォール機器等が、「e-TAX償却資産」の通信を許可する設定が必要です。

そのため、貴社のシステム担当者様に、以下の設定となっていることをご確認ください。

1. 「e-TAX償却資産」の動作要件（ファイアウォール設定）

貴社のネットワーク上でファイアウォール機器等が動作している場合、以下の通信宛先およびポートへの通信を許可する設定となっていること。

宛 先	URL	ポート
国税電子申告・納税システム (e-Tax)	https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp	443
地方税ポータルシステム (eLTAX)	https://www.portal.eltax.lta.go.jp	443
株式会社TKC	https://etaxlicense.tkc.co.jp	443
	https://cts.tkc.co.jp	443
	http://ctsdwnld.tkc.co.jp	80
	https://ctsdwnld.tkc.co.jp	443
	https://www.prft.tkc.co.jp/	443
	https://tkcexpress.tkc.co.jp	443
	https://www.tkc.jp	443
	https://gprooe.tkc.co.jp	443
	https://cbc.tkc.jp	443
株式会社TKC (プログラムインストール ／プログラムダウンロード ／ISOダウンロード)	http://crl.*.amazontrust.com	80
	http://ocsp.*.amazontrust.com	80
	http://*.microsoft.com	80
	https://*.microsoft.com	443
	http://*.windows.com	80
	https://*.windows.com	443
	http://*.windowsupdate.com	80
	https://*.windowsupdate.com	443
	http://download.microsoft.com	80
https://download.microsoft.com	443	

※「第六世代税理士用電子証明書」で電子署名する場合は、次のURLを許可してください。

宛 先	URL	ポート
リモート署名サーバー	https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp/	443
第六世代管理ツール	https://nzs6.e-probatio.com	443
第六世代管理ツール (可変文言データ取得、CP/CPS 参照用)	https://www.e-probatio.com	443

2. 通信を許可するプログラム

ファイル名	ファイルの場所
EtsMain.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETKOTEI
EtsPKey.exe	
DownloadTkcUpdate.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETKOTEI¥CTS

EtsAppLauncher.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETKOTEI¥CTS
	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETKOTEI¥CTS¥Temp
TkcUpdate.exe	(OSドライブ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update
BasicSetup.exe	(OSドライブ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update¥*****
TkcUpdate.exe	※フォルダ名の*****部分は、システム登録状況により値が異なります。「1.3.45.129」のように数値と「.」の組み合わせとなりますので、Updateフォルダ内を確認してください。
TkcUpdateOdm.exe	
DOTNETVer4DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW4
DOTNETVer2DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW35SP
instMS14DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2014
instMS22DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2022
SQL2022-SSEI-Expr.exe	
OEClient.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETKOTEI¥OEClient
SystemUsageSender.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETKOTEI¥CBC
	(OSドライブ):¥Users¥<ユーザー名>¥AppData¥Local¥Temp¥TkcSystemUsage2nd ※<ユーザー名>はコントロールパネル>システム>システムの詳細設定で環境変更 Temp をご確認ください。

※「システムドライブ」は、e-TAX償却資産をインストールしたドライブです。

※「OSドライブ」は、OSが登録されているドライブです。

3. 上記の設定が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

- (1) UTM(統合脅威管理)製品・機器
- (2) ファイアウォール装置、ファイアウォールソフト
- (3) プロキシサーバー
- (4) ウイルス対策ソフト、セキュリティ対策ソフト等

(ご注意)

「e-TAX償却資産」をパソコンに登録した際に、コントロールパネル－インターネットオプションの「信頼済みサイト」に、国税電子申告・納税システム(e-Tax)のURL、および地方税ポータルシステム(eLTAX)のURLが登録されます。

4. プロキシサーバーの認証方式に関する制約

地方税eLTAX仕様では、プロキシサーバーの認証方式に関する制約として、対応している認証方式は「BASIC認証」「Digest認証」「Negotiate(NTLM)認証」とされています。

e-TAX償却資産をご利用のパソコンからインターネットに接続する経路に認証が必要なプロキシサーバーが設置されている場合は、その認証方式が「BASIC認証」「Digest認証」「Negotiate(NTLM)認証」のいずれかであるかどうかを、貴社のシステム担当者の方にご確認ください。

以上